

Staff Blog

スタッフブログ （スタッフブログ）

インドシナ祭り

ある日のことでした。いつも遊びに来てくれる女の子から

「飼育員さん、トカゲ1匹増えたんですね！」

と言われました。

んん？何のことだ？知らんぞ？

どのトカゲのことだろうと思い連れて行ってもらうと・・・



（よく見つけたと思います）

あー確かにいるー！赤ちゃん生まれてるー！

これが当園におけるインドシナウォータードラゴンの初めての繁殖となりました。オスとメスのペアで飼育していたため、繁殖したらいいな～と希望は抱いていたのですが、これまで音沙汰なかったことから突然の吉報となりました。



(インドシナウォータードラゴンの大人のオス)

朝見た時には全く気付かなかったもので、先に発見されたことに悔しさが混じるも、さすが常連さん、よくみてくれているなと嬉しい気持ちになりました。(その子は私が見つけたんだと他の飼育員さんにも自慢しまくっていたみたいです笑)

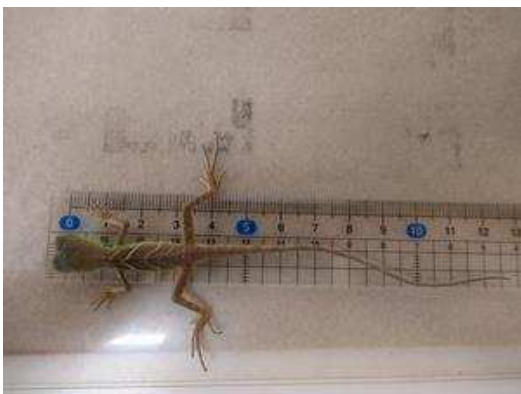
さて問題はここからです。はちゅうるい館の短い歴史のなかで、繁殖は3例目。さらに私は爬虫類歴1年の新米で初の繁殖です。様々な疑問や不安がよぎります。

どこで生まれたの？いつからいたの？何食べてたの？・・・

まずは捕まえて大きさを測ってみました。



(捕獲時。ガラス越しの親子)



(12.5cmでした！)

そしてケージにに入れてしばらくして、小さなコオロギを与えてみました。すると・・・



これまでの不安を吹き飛ばすかのような食べっぷり！動くコオロギに機敏に反応し追いかけて食べる様は、親のそれを見ているようです。爬虫類のほとんどは生まれてから自分でエサを探して暮らすので、生まれ持つ本能を目の当たりにしました。

よかったよかったと一安心した1週間後。今度は私が！！発見しました！！



（左が2例目です。よくみると背中の模様が違います）

2例目です。前回より少し大きいようです。

同じくケージに入れて落ち着いたところにエサを食べ始めました。インドシナウォータードラゴンは1度に4～十何個産卵すると言われているため、まだ幼体がどこかに隠れているかもしれないと思いきまなく探しましたが、今回はこの2頭のみだったみたいです。

ところがある日、成体の♀が地面に降りていました。普段は木の上で暮らしているため、珍しいなと思いよくみると



（奥の方にうっすら白い物体が・・・見えますか？）

穴が掘ってあり中から卵がみえるではないですか！！

卵を産み終え穴を埋め戻そうとする場面に出くわしたようです。しばらくするときれいな更地の状態に戻っており穴の位置も分からなくなっていたので、この場面を見ることが出来たのはラッキーでした。

今回は卵を掘り起こし、人工孵化に挑戦することにしました。そっとして置きたい気持ちも山々ですが、卵を産んだ場所は水が当たらずカラカラな場所であり孵化が難しいこと、またいくつ産卵したのか、孵化の条件や幼体の大きさなど、人工孵化によって得られる知識や経験を今後の爬虫類飼育に役立たせるためです。



(回収時は2cmでした)

5つ卵を確認しました。うまく孵化したら9頭の大所帯となります。現在はオープンラボ内で大切に管理しているので、孵化を楽しみにお待ちください。

また今回紹介した幼体たちははちゅウるい館内で展示しているのでぜひ会いに来てくださいね！

(未だに茂みの中を探してしまう 日野)

2021年3月31日

休園中の動物たち カバ・クロサイ編

新型コロナウイルスが猛威を振るいだして早一年、私たちの生活にもたくさんの変化がありました。マスク生活、WEB会議、飲み会自粛などなど、全部上げたらきりがなくらいです。

そんな中、さまざまな業種で休業、休園、休〇〇(これも網羅したらきりがなく)を余儀なくされたと思います。もちろんかみね動物園も大きく2回、長期休園をしました。

思い返せば、ゴールデンウィークも奇跡の休園でした。1日1万人来ることもあるGW、休園は開園以来初めてではないでしょうか。結局私たちも園内で仕事があるので、GW満喫！はできなかったですし、外出自粛のGWはみなさんも途方に暮れてしまったのではないかと思います。

夏から秋、ウィルスも落ち着いてきたかなと思っていたところで、またもや第3波。1月9日から2月21日まで、なんと44日間も休園となりました。

その休園期間、私の担当のカバ・クロサイはというと、たいへんゆったりのんびりした生活を送っていました。どんな生活をしていたか、ちょっとご紹介します。

午前9時、動物園が開園であればその時間には「仕事だよー」と外に出てもらいます。でも休園中は来園者も来ませんから、「カバ遅いぞー！」と怒られることはありません。外に出るのもゆっくりです。飼育員がさぼっているわけでもありません。その理由は、「寒い！」

幸か不幸か、1年で一番寒い時期の休園期間でした。開園中であっても、あまり寒いと他の動物も外出を遅らせることがあります。「朝一番で来てくれた来園者に申し訳ないな」という思いがありながら、動物には「ゴメン、ちょっと寒いけど外に出てね」と1分でも早く外に出てもらったりと、冬の朝は心の葛藤がしばしば。

カバのチャポンは外が大好き。外が寒かろうが「早く外に出してー」と柵越しにアピールしてきます。少し寝室で待ってもらって、やっと外出です。



早くあたしのうんち掃除しろー



早く外に出せー



やっと出られたわ

【飼育員の気まぐれアテレコなので、チャポンはこんなに口は悪くはありません、優しいカバです】

一方クロサイのメトロはというと、毎日寝坊助。普段なら叩き起こすところですが(叩きませんけど)、もう少し寝てていいよと優しく見守ります。おっと、春のコロナ騒動で休校だった小中学生もこんな感じだったのでは!?



眠いっす…



まだ眠いっすけど、いってきます！

太陽が昇って陽が差してきてから外出させることができたので、クロサイ、カバは寒い思いをすることなく過ごすことができました。なんといってもこの2種、体を覆う毛が生えているわけではなく、ほぼ地肌ですからね。余計に寒さはこたえます。

寒い寒いといっても、天気の良い日中は太陽の恩恵を受けポカポカ。日当たりの良いところでお昼寝タイムです。あっ、お昼寝タイムは休園でも開園でも変わらなかった、いつもの日常でしたね。



ぽかぽか…



ぽかぽかぽか…



寝ながらウンチは、はしたないですよ～

開園であれば動物園が閉まるのは午後4時15分、その時間までは動物たちが外に出ているの

が理想です。ただ、気温によっては早めに入舎することがあります。ここでも心の葛藤、「来園者のみなさんごめんなさい」と思いながら寝室に入れます。

休園中は午後も寒くなってきたら「早く帰ろっかー!」。チャポンは外が好きと前述しましたが、外に出すと寒いことに気付くらしく、今度は「早く入れてくれー」と扉の前でウロウロする毎日。



ウロウロ…



ウロウロウロ…

寒い思いをすることなく部屋に帰すことができました。



ごはんごはん



俺は樹木の枝葉が好物なのだ

園内でもクロサイやカバ、キリンのいるエリアは北風が強いため、冷える前に入舎できたのは休園期間の賜物でした。

動物を直に見て楽しんでもらうというのが私たち飼育員の仕事の一つです。そして、動物の体調管理も仕事の一つです。夏は暑いし冬は寒い、雨も降れば雪も降る。動物園を楽しみに来園するみなさまと動物の体調を考えながら一日を過ごしています。

今回の冬季の長期休園は動物たちにとっては優しい休園だったかもしれませんが、でもやっぱりたくさんの来園者がいて賑わっている動物園がいいなと、痛感した休園期間でした。

2021年3月31日

ライオン きぼう10歳の誕生日会～二分の一成人式～

3月16日は、きぼう君10歳の誕生日！ということで少し前の14日に誕生日会を行いました。

10年前の大きな震災の5日後に生まれたきぼう。元気にすくすくと育って立派な大人になりました。



«今回の主役！きぼう»

今年の誕生日プレゼントはこちら！



«イノシシのお肉»

イノシシのお肉です。

実はこのイノシシのお肉、普段我々が食べているような牛肉や豚肉、鶏肉とは違う『屠体』という獣害で駆除された野生動物を処理したお肉なんです。そしてこのようなお肉を動物園の動物たちに与える取り組みを『屠体給餌』と言います。「屠体給餌について詳しく知りたい！」と思われた方は、以前アップした『屠体給餌（とたいきゅうじ）って何？』というスタッフブログをご覧ください。

今回は誕生日会ということで、イノシシをプレゼント箱にいれてみました！



「プレゼント箱？」

といっても冷凍肉の段ボールを再利用しただけなんですけど.....(笑)

段ボールに入れることで採食時間、つまり動物にとって楽しい時間を延ばすことができます。さらに食べた後には、噛み千切ったり引っかいたり楽しいおもちゃになります。基本的に段ボールは食べませんが、万が一お腹に入ってしまったとしても紙でできている物なので細かくなったり溶けたりして糞と一緒に排泄されるのでご安心を。



「プレゼント箱を開けるきぼう」

さっそくプレゼントを開け始めました！あんまり器用ではないので豪快に破り割いています。(笑)



「プレゼントを食べるきぼう」

中身を取りだして美味しそうに食べています。



「食べ終わったきぼう」

早くも食べ終わってしまったようです。「他にはないのかな??」とあたりをキョロキョロしています。

今回はお肉を5つに分けて設置したので、この後も楽しそうに、そして何より美味しそうに食べていました。

こんな美味しいお肉を一人占めはずるい!! ということで一緒に暮らしている雌ライオンたちやご近所さんのトラ、ヒグマたちにもおすそ分けしました。



《イノシシを食べるヒグマ》

10歳と聞くとまだまだ若いと思うかもしれませんが、野生下での寿命は10年ちょっと、飼育下では20年程度。きぼう君は人生もといライオン生の折り返し地点に差し掛かってきています。子供のようにおもちゃで遊んだり、妹たちと仲良くじゃれ合う様子はなかなか見られません。これから元気なきぼうの姿をみなさんに見ていただけるよう、彼と一緒に頑張っていきます。



《日向ぼっこしているきぼう》

2021年3月25日

ゴウ元気に行ってらっしゃい

3月6日にチンパンジー「ゴウ」ちゃんの行ってらっしゃい会を行いました。



(イチゴを頬張る)

ゴウは3月17日に横浜市よこはま動物園ズーラシアへお引っ越しをします。かみね動物園での最後のイベントとして元気に旅立てるように特製ケーキをプレゼント！

おからと煮たサツマイモ、イチゴで輪郭、ブドウで目と鼻と口を作ってみました。普段のごはん内容とはかなり異なりますが、最後という事もあり豪勢に仕上げました。



10歳になるゴウは2011年2月7日に生まれました。お母さんのヨウは上手に育児ができず、最初は飼育員が代わりに育てる人工保育となっていました。それでも親子関係を取り戻す試みを続けたことで1歳にはヨウと一緒に暮らせるようになりました。それからはヨウのおっぱいを吸う姿が確認されるなど、人工保育をしていたのが嘘のように仲の良い親子としてずっと過ごしてきました。



(紙芝居で生まれた時のお話をしました)



(1歳の時のゴウとヨウ親子、マツコとリョウマ親子とも仲良しでした)

ただゴウはずっとかみね動物園にいることは出来ません。チンパンジーのメスは年頃になると(10歳前後)生まれた群れを離れ他の群れへと移籍、反対にオスはずっと生まれた群れで過ごすと言われています。

お父さんのゴヒチ、お兄ちゃんのユウ、弟のリョウマとの間にゴウは子供は残せません。今回のズーラシアへのお引越しは新たな命を繋いでいくためにも大切なことです。



(リョウマとゴウとユウ)

今年に入ってから少しずつヨウと距離を取ることを促すなど準備を進めてきました。今までと違う状況に心境の変化が見取れ、イライラしていることもあったため出来る限りのケアを心がけました。新しい環境に向けて少しずつゴウも何かを感じ取っているのかな、と勝手にですが思っています。

10年間と長い間を過ごしてきたため寂しい部分もありますが、悲しいお別れではないため当日は笑顔で送り出したいなと思います。



(元気でねー)

来園者の皆様もここまで一緒に成長を見守って頂き本当にありがとうございました！お引越しが発表になってからは多くの方がゴウに会いに来てくれたり、コロナ禍で来園が叶わない方からメッセージを頂いたこともありました。



これ程多くの方に愛されとても嬉しく感じています。先ほども書きましたが決して悲しいお別れではないため、今後の幸せと一緒に願ってもらえたらと思います。そして会いに行くことができる方はぜひズーラシアに遊びに行ってみてください！

(10年間ずっと担当させてくれてありがとう 飼育員 おおぐり)

2021年3月14日

園長ガイド開催！！

みなさん、こんにちは！

春らしい陽気になったと思いきや、突然寒くなるこの頃。体調等は崩れていませんか？

さて、先日3月7日に毎年恒例となった園長ガイドを行いました。

このイベントは、生江園長のガイドを聞きながら園内を回るイベントです。

今年はコロナウイルス感染症感染拡大防止のため、人数を制限して行うこととなりました。



まずはじめに、ゾウのお話からはじまりました。
かみね動物園のゾウの歴史、そして歯の話などとても幅広いガイドが行われました。
また、ゾウの寝室にもお邪魔して、ゾウのご飯や寝室の様子を参加者の皆さまに観察して頂きました。



(ウンチも観察しました。)

続いて、はちゅうるい館にて、爬虫類のガイドを行った後に、ワニの食事風景を観察いたしました。
参加者の皆さまはワニがごはんを食べる様子を熱心に観察していました。



（爬虫類のお話）

続いて、12月に完成したニホンザルの展示場を観察し、最後のキリン舎に向いました。
キリン舎では、キリンの寝室にお邪魔して、寝室の様子やキリンが普段食べているごはんについてのガイドがされました。



（キリン舎でのお話）

イベント中、参加者の皆さまから、質問も多くあがり、非常に活気あるイベントとなりました。

参加された方々、お寒い中、ご参加くださりましてありがとうございました。

また、人数制限で今回参加できなかった方やこのイベントに参加したいとお考えの方、是非次回以降のご参加をお待ちしています！

2021年3月14日

ロバの採血トレーニング

みなさま、こんにちは！

獣医師の川瀬です。

今回は、ロバのハズバンダリートレーニングのご紹介をいたします。

当園には、オスのロバのチョムという個体があります。



（ロバのチョム）

これまでチョムの健康診断は、麻酔かけたり物理的に保定して行っており、年に1回程度実施してきました。

しかし、もう若くない年となってきたために、もう少し、健康診断を実施できないかなと考えました。

そこで、多くの動物たちで取り入れているハズバンドリートレーニングを実施することになりました。

まずは採血が行えるように採血トレーニングを実施することに。

まずは採血する場所に誘導するところから始めました。



（棒の先にある黒い所にタッチするとご褒美（ニンジン）がもらえます）

そして展示場の内側の柵（ロバの展示場は2重の柵構造になっています）に顔を乗せてじっとするようにトレーニングしました。

そうすることによって首が伸び、首を走行している血管が見やすくなり採血がしやすいと考えたからです。



（柵に顔をのせてじっとしてもらいます。）



（触っても大丈夫なようにトレーニングします。）

チョムは非常に積極的にトレーニングに参加してくれて、あっという間に採血の姿勢を取れるまでに至りました。

その後、首を触っても動かないようにトレーニングし、いよいよ大丈夫となったら針を血管に刺してみました。

針を刺すというのは、練習ではできなくどんな反応をするのか心配でした。初めて針を刺した時は、少しびっくりしたようでその場から動いてしまい、採血ができませんでした。そのため、再度、首を触る練習を重ねていく事としました。

そうすることで、先日初めて、トレーニング下での採血に成功することができました。



(採血している様子。)

針を刺しても動かずに実施することができ、採血者である私自身安心して採血することができました。

これからも継続して行い、定期的な採血が実施できるようにトレーニングを続けていき、さらに今後は多くの事が出来るようにしていきたいと思います。

獣医師 川瀬

2021年3月9日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

令和3年

[令和3年12月](#)

[令和3年11月](#)

[令和3年10月](#)

[令和3年9月](#)

[令和3年8月](#)